

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	秦野市役所		代表者名	市長 高橋 昌和	
担当者部署	総務部		連絡先電話番号	0463-82-5115	
担当者役職	課長代理	担当者氏名	西澤 冠	連絡先E-mail	
住所	257-8501 神奈川県秦野市桜町1丁目3-2				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	家中 賢作
評価	大変よい
上記評価の理由（どのよう なところがよ かったか等詳 細に）	本市が感じている課題（EBPMの考え方やどのように日常業務に取り込んでいくか等）を的確に捉えていただき、それを踏まえた資料等をご準備いただいた。
アドバイザーへの要望事項	特に無し

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年11月29日	支援・助言	無		
			開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			10時00分	11時00分	0
				活動時間（分）	60

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	デジタル推進課職員	1人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	本市では「はだのICT活用推進計画」を基本に、各種デジタル化の取組みを実施しています。そのひとつとして、「EBPMの考え方を踏まえたデータに基づく行政運営」を掲げておりますが、全庁的にその考え方を浸透させるため、今年度課長代理級（係長級）に昇格した管理職を対象とした階層別研修の一つの研修項目として、「EBPMの概要及びEBPM実践の事例や自治体における生成AIの活用方法等（内容等は事前に調整）」についてオンライン（ZOOM）で講義いただき、新任管理職がヒントを得た中で、各担当課における今後の政策立案等に活かされればと考えております。	
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	令和6年1月17日に予定している研修の内容を決定する	
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	本市の課題を捉えていただいた中で、EBPMの概念等の学術的な話では無く、自治体におけるEBPMやデータの利活用など、行政デジタル化の国の動向等も抑えながら、分かり易い資料の案をご提示いただいた。また、生成AIについてもどのようにEBPMに取り入れるかについて相談したところ、研修内容に追加いただけることになった。	
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	研修内容のすり合わせを適切に実施できた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	研修テキストの内容について、事前に示していただけ	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	最終的な研修資料については別途メール等で調整	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)	
	アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 研修時にアンケートを実施予定です。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	新任管理職がヒントを得た中で、各担当課における今後の政策立案等に活かすこと	

なお、＜その他＞を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

